

FD・SD 大学問題研究会

1. 企画趣旨

本研究会は、本学の抱える諸問題・課題、社会情勢及び教育政策の動向やその対応等について、学内外から講師を迎え、参考となる話題を提供してもらい、本学の管理運営、教育研究の改善・改革等に資することを目的としている。2022（令和 4）年度は 11 年目を迎え、ハラスメント防止、中退予防対策、大学設置基準の改正、高等学校指導要領改訂の狙い、人からデータを得る研究の倫理審査に関する講演会を、年間で計 5 回にわたって開催した。

2. 実施概要（開催日時・テーマ・参加者数）

本研究会の開催数は、初年度である平成 24 年度には 6 回、平成 25 年度に 4 回、平成 26 年度に 5 回、平成 27 年度に 2 回、平成 28 年度に第 4 回、平成 29 年度に 8 回、平成 30 年度に 6 回、令和元年度に 5 回、令和 2 年度に 6 回、2021（令和 3）年度に 5 回、令和 4 年度は第 52 回目からの開催となる。

「第 52 回 大学問題研究会」

日 時：2022 年 5 月 19 日（木）16 時 30 分～

実施方法：Zoom ミーティングによるライブ配信

テ ー マ：「ハラスメント防止研修」

講 師：株式会社シー・イー・アイ

茂木 和剛 氏

参加者数：226 名（教員 145 名、職員 81 名）

「第 53 回 大学問題研究会」

日 時：2022 年 7 月 21 日（木）16 時 30 分～

実施方法：Zoom ミーティングによるライブ配信

テ ー マ：『中退予防対策について』

講 師：大正大学 総合学修支援機構 DAC

特命教授 山本 繁 氏

参加者数：225 名（教員 146 名、職員 79 名）

「第 54 回 大学問題研究会」

日 時：2022 年 11 月 10 日（木）から 11 月 30 日（水）まで

実施方法：オンデマンド方式 動画視聴後、アンケートの提出

テ ー マ：『大学設置基準の改正について』

※文部科学省/mextchannel（YouTube 動画）視聴時間：約 40 分間

視聴者数：203 名（教員 141 名、職員 62 名）

「第 55 回 大学問題研究会」

日時：2022 年度 12 月 15 日（木）16 時 30 分～

実施方法：Zoom ミーティングによるライブ配信

テーマ：『高等学校指導要領改訂の狙いについて』

講師：国立教育政策研究所 初等中等教育研究部副部長・総括研究官

教育データサイエンスセンター総括研究官

白水 始 氏

参加者数：218 名（教員 143 名、職員 75 名）

「第 56 回 大学問題研究会」

日時：2023 年 3 月 20 日（月）から 3 月 31 日（金）

実施方法：Zoom ミーティングによるライブ配信

テーマ：『人からデータを得る研究の倫理審査について』

講師：本学研究担当副学長

人間生活学部長、人間福祉学科長

教授 吉田 亨 氏

視聴者数：164 名（教員 113 名、職員 51 名）

3. まとめ

本研究会は、FD・SD 活動の一環として位置付けられた全学的な取組である。定期的かつ継続的に行うことで、大学の教職員として必要とされる知識を深め、ひいては大学全体としての共通認識を涵養することで、理念の実現に繋げるものである。

実施された講演はいずれも高度な専門領域における内容であったが、近年の大学教育改革及び社会の多様化といった背景において、本学の学校運営にいずれも不可欠なものであったといえる。

講演会の実施方法については、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の観点からいわゆる「三つの密」（密閉・密集・密接）を回避する必要が生じたため、オンラインでのライブ配信やオンデマンド形式に切り替えた。さらに、当日の講演会の録画を配信するフォロー研修期間を設定したことにより、非常勤講師を含むより多くの教職員の参加が可能になった。

次年度以降も、学内委員会等との連携・共催により、問題を多角的な視点から捉え、かつ焦点を明確にした FD・SD 研修会の開催が期待される。

以上